



株式会社 PGSホーム

訪問販売

本社所在地 〒537-0011 大阪府大阪市東成区東今里2-1-8 PGSビル

TEL.06-6981-3914 FAX.06-6981-3934



『賢い消費者育成プロジェクト』
▷協賛企業◁

URL <https://www.pgs-home.jp/>

【本店・支店・サロンのある地域】

北海道

東北

関東

北陸・甲信越

東海

近畿

中国

四国

九州

沖縄

■代表取締役■

池口 護

■経営理念■

お客さまからの信頼と共に発展する
お客さまに感謝し、信頼を受け、より
よい「住環境」を創造してまいります。

■コンプライアンスの取り組み■

*コンプライアンス部署：7名

部署責任者：的場 範恭

お客様アンケートの取得、担当者への
フィードバックを行っています。

ご高齢のお客様には、契約後に当社から
ご契約内容の確認のお電話を差し上げ、お
客様に契約内容の相互確認を行ない、ご不
明点等がないか、確認をしております。

毎月、会議において、支店長へ訓示を行
ない、法令順守を徹底した営業活動を行なっ
ております。また、年1回、顧問弁護士を
講師に招き、特商法を中心にコンプライア
ンス研修を実施しております。

消費者相談窓口を本社内に設け、消費者
への誠実な対応を順守しております。

契約後、本社管理部門から直接お客様とお
話し、再度、契約内容、契約締結の意思確認、
お客様相談室、直販協会の相談窓口の案内
を行ない、適切な勧誘活動が行なわれてい
ることをモニタリングしております。クーリ
ングオフを受付けた際は、契約解除通知書
をお客様へ送付しています。

■当社の働き方改革■

〈一人ひとりに合ったクリアな評価〉

男女を問わず、意欲次第で様々な機会に挑戦
できる環境となっており、一人ひとりの意欲や能
力を重視した採用・育成・配置・登用・昇格を行なっ
ています。

〈風通しのよい職場環境〉

すべてのジェンダーがパートナーとして尊重し
あえるよう、ハラスメント防止運動を含め、誰も
が働きやすい風通しのよい職場風土の醸成に取
り組んでいます。

〈充実した休暇制度〉

男女のための育児休暇、子が病気の際の看病
休暇、介護休暇、子の学校行事への参加に関わ
る休暇等、休暇促進を図るための啓蒙活動に力
を入れています。

■設立年月：1983年1月

■本社営業時間：9時～18時

■本社定休日：日・祝日

■売上高：50億円（2022年9月期）

■販売員数：200名

■加盟団体：光触媒工業会

■消費者相談窓口■

FREE 0120-27-3914

■相談窓口営業曜日：

日 月 火 水 木 金 土

■相談窓口営業時間：[月～土]9時～18時 [日・祝]—

[月～土] 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

■直販協の相談窓口も利用しています

■主力製品・サービス



『住宅ペイント』

光触媒塗料「スーパーチタンプロテクト」
光触媒のチカラにより、汚れや臭いが付き
にくく、また、色あせしにくい、環境にや
さしい塗料です。

太陽光発電システムは、太陽光から発電
した電力を、家庭用電力として使用できま
す。電力の購入量が減り、リアルタイムで
発電・使用・売電状況がわかるモニターに
よって、経済的な上、ご家庭での節電意識
が高まります。

■コンプライアンス体制■

■相談窓口の状況

- ▷自社内に消費者相談窓口を設置
- ▷Eメールでも相談を受け付け

■デジタルツールの活用■

- ▷オンラインセミナーを実施
- ▷その他の取り組み
- ※お客様との打ち合せや施工現場の
進捗管理用のアプリを導入しました

■契約の適正化

- ▷勧誘時にチェックリストを活用
- ▷新規契約者にウェルカムコール

■高齢者への勧誘■

- ▷ご家族の同意を得ている
- ▷ご家族の立ち会いをお願い
- ▷ウェルカムコールを実施
- ※75歳以上の方を対象に実施し
ています

■法令研修

- ▷社員に法令研修を実施

■その他

- ▷行政・業界団体のセミナーに参加
- ▷消費生活センターに定期訪問
- ▷社員による内部通報先を設置

■若年層への勧誘■

- ▷ご家族の立ち会いをお願い
- ※20歳未満の方を対象に実施し
ています

■社会貢献活動・CSR活動■

・資源のリサイクル活動

「公害を生み出さない人づくり」と「空き
缶散乱公害をなくす」ことを目標に、当社従
業員とその家族が協力してプルタブ・アルミ
缶回収運動に参加しています。

・ペットボトル容器のキャップ回収運動

NPO法人「キャップの貯金箱推進ネット

ワーク」による寄付金額はワクチン購入費用
に充てられ、NPO法人「世界の子どもにワ
クチンを日本委員会」を通じて、開発途上国
の子どもたちに贈られています。なお、ペッ
トボトル容器のキャップ回収運動はCO₂削
減にも繋がっており、キャップ1Kgあたり
約3150gのCO₂削減ができます。